

まはは

「その日には」

「主はすべての地の王となられる。その日には、主はただひとり その名もただ一つとなる。」

(ゼカリヤ書 第14章9節・旧約聖書1471頁)

はじめに

預言者ゼカリヤは神殿再建を促す言葉を語りました。何よりもそれは神の民たちが失いかけていた信仰の再建、回復のためであり、主イエスのひな形である「若枝」が現れること、そして、その救いの象徴である「開かれた泉」を受けるべく、自分の姿勢を嘆き、悔い改めようとしてきました。今日はその救いがもたらされた時、私たちはどうなるのかを見ていくことにします。

「その日」とは

聖書の主題は「救い」であり、旧約聖書の内容は「救い主は来られる」、新約聖書は「救い主は来られた」です。そのことを念頭に置いて読むと、特に預言書では、救いが到来する日を意識していることが分かります。ゼカリヤ書でも同様で、「その日」という言葉だけでも24箇所もあり、それだけ重要であることがわかります。つまり、その日とは、主の十字架が私の罪のためであったと悔い改めた者たちにもたらされる、「救いの実現日」であるということです。救いによって何が起こるのか

では「その日」には何が起こるのでしょうか。ゼカリヤ書の記述をまとめるならば、私たちに3つのみわざが起ることがわかります。

まず、神が「あなたは私の民である」と宣言される日であることです。この宣言は、神が私たちの生涯の全責任を負い、私たちを養い、導き続けてくださるということであり、私たちはそれに対して信頼をしていくという関係が始まることです。「その日、私の民となる。私はあ

なたのただ中に住む。」(2:15)。

次に、神が私たちが神の民とすることで、私たちに輝きが増される、つまり、周囲の人たちに分かるようにその生涯が祝福されるようになります。「その日、彼らを救い その民は羊の群れのように 王冠の宝石のように、その地の上にきらめく。」(9:16)

三番目に、神の民となった時、神が私たちの敵を滅ぼし、敵から守ってくださるようになります。「その日、すべての馬を打って慌てさせ、乗り手を狂わせる。」(12:4)。

救いがもたらされた私たちには、人には考え及ばないほどの祝福が持ち受けているのです。救いの完成する「その日」

そして、実はもう一つの「その日」があります。それは私たちの救いが完成する「その日」です。主は天地創造によってこの世を始められました。初めがあれば終わりがあります。神はその終わりの日のことを預言者に語らせているのです。この世にはさまざまな救いがあるように思われますが、この世が終わる時、すべての色があせ、本当の救いが現れる、「主はただひとり」がはっきりとされる。それがこの聖書という救いです。主イエスが再びおいでになるとの預言は必ず成就します。その再臨の時、私たちにもたらされるのは、なんの隔たりもない神との交わりです。これこそが私たちの真の救いの日なのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「その日には、多くの国民が主に連なり 私の民となる。私はあなたのただ中に住む。…その日、彼らの神、主は、彼らを救い その民は羊の群れのように 王冠の宝石のように、その地の上にきらめく。…その日には、私はすべての馬を打って慌てさせ、乗り手を狂わせる一主の仰せ。そしてユダの家の上に目を開いて、もろもろの民の馬をすべて打ち、目を見えなくする。…主はすべての地の王となられる。その日には、主はただひとり その名もただ一つとなる。」(ゼカリヤ書 2:15、9:16、12:4、14:9)



神さま、私に救いの道を示してください、ありがとうございます。私は主イエスさまによってもたらされた十字架による救いを信じます。

私があなただけの民であると宣言してください、ありがとうございます。私はあなたを主とし、あなたを信頼してすべてをお任せします。私を世の輝く者として祝福に満たしてくださることを信じます。そして、私の敵を打ち砕き、守ってくださることを信じます。主イエス

が再びおいでになるその時に、あなたと何の隔たりもなくまみえることができることを信じます。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (76) 第4章4節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「父は私に教えて言った、『私の言葉を心に留め 私の戒めを守って、生きよ。』」

◎口語訳 「父はわたしを教えて言った、『わたしの言葉を、心に留め、わたしの戒めを守って、命をだよ。』」

◎新改訳 「父は私を教えて言った、『私のことばを心に留め、私の命令を守って、生きよ。』」

「家訓」

ここからは、これまで語ってきた父の言葉をまとめるような内容になっています。この節はその「序」であり、簡単に言うならば「家訓」として語っている部分になります。

土屋家の家訓は「お残しは許しません」でした。食事の姿勢が生活全体の姿勢を律することにつながるかと考えていたからです。

世の中には立派な家訓を残されている家があり、それらを考えると私の家の半分冗談のような家訓はその足もとにも及びません。しかし、どう生きべきなのか、規準がはっきりしている家と、そうでない家は格段の差があるように思います。現代の家庭にまとまりがないのは、家長がその生き方をはっきり示せていないのが一因であると考えています。

例えば、校訓などは、学校そのものの目指す

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

べき方向を公に示しているわけですから、いい加減なものであってはなりません。県内のキリスト教主義学校の例を挙げると、青山学院は「地の塩、世の光」、関東学院は「人になれ、奉仕せよ」、桜美林は「学而事人(学んで人に仕える)」、フェリスは「他者のために」、横須賀学院は「敬神愛人」など、いかにも、という校訓が並びます。私が以前、何かのはずみで目にした大妻女子大の校訓は、かなりインパクトがありました。「恥を知れ」です。土屋家の家訓と通じるものを感じました。あなたの家の家訓は何ですか。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

列王紀上第9章3節「私は、あなたが乞い求めた祈りと願いを聞いた。私は、あなたが建てたこの神殿を聖別し、そこに私の名をとこしえに置く。私の目、私の心はいつもそこにある。」◆パウロは、コリント一で「あなたがたは神の神殿であり、神の霊が自分の内に住んでいることを知らないのですか」(3:16)と記している。「私」が建てたのではなく、神が私たちを聖別し、神の住まわれる神殿としてくださったのだ。神の臨在により、神は栄光をもたらし、祝福を与える。もし、私たちがこのことを拒否しなければ、神の目は常に私たちに注がれ続けるのだ。

●賛美 / 438 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第10章7節「私にはその半分も知らされていなかったのです。あなたの知恵と富は、私が噂に聞いていたことをはるかに超えています。」◆シエバとは現在のイエメンだと言われている。2000kmも南にある国にもその名声は伝わり、そして会いたいと思わせた。神の言葉はソロモンの知恵の源泉である。そのゆえに、聞きたいと思う人たちを四方から起こすはずだ。私たちが「聞きたい」と思えるような証しを発信すべきだ。おそらく、来た人たちは「福音のすばらしさを半分も知らなかった」というはずだ。私たちに与えられた福音を証し続けようではないか。

●賛美 / 439 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第11章4節「ソロモンが年老いたとき、女たちは彼の心を、他の神々へと向けさせた。」◆何がつまずきの種になるかわからない。ソロモンは多くの妻、側室をかかえ、自分の栄華を誇ったが、そのことが彼の信仰を鈍らせた。外国からきた妻たちは王宮に偶像を持ち込んでいたが、ソロモンはそれを許してしまう。この妥協が自分の信仰を失わせる原因となったのだから恐ろしい。私たちが畏となるようなものを近づけてはならない。遠回りしてでも避けるべきである。そして神に祈り、武具を身につけ、油断することなく悪魔に対抗していくべきである。

●賛美 / 440 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

列王紀上第12章13～14節「王は長老たちの助言を取り上げず、若者たちの助言に従ってこう言った。」◆ヤロブアム事件の経緯を知っている老人たちは、適切な案を提示した。しかし、ソロモンの子、レハブアムには「ご学友」がいた。おそらく、側近の武将や祭司の子たちではなかったかと思うが、ヤロブアムの処遇について、レハブアムはご学友たちの意見を採用したのだ。当然、自分もそう思っていたからである。彼はどれだけ彼らの意見に耳を傾けていただろうか。結局、彼の傲慢は王国を分裂させ、取り返しのつかない事態を招いた。

●賛美／441 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

列王紀上第13章33節「この後も、ヤロブアムはその悪の道から立ち帰ることがなかった。」◆ヤロブアムは有能な人物だった。ソロモンにも重用され、将来を嘱望されていたのだが、あまりにもでき過ぎてしまい、ねたんだソロモンに殺されそうになる。預言者アヒヤに「あなたは王国のひとつを持つようになる。もし主の道に歩めば繁栄がもたらされる」とまで言われたものの、結局彼は「立ち帰ること」なく、逆に人心が自分から離れないようにと、神信仰に励むのではなく、金の子牛を作ってしまう。立ち帰らなかったことで彼は神に背く王の代名詞となる。

●賛美／442 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

列王紀上第14章6節「ヤロブアムの妻よ、入りなさい。なぜあなたはそのように他人を装っているのか。私はあなたに厳しいことを言うようにと遣わされているのだ。」◆ヤロブアムの子、王を継承すべきアビヤが重態になった。ヤロブアムは自分が王になると預言したアヒヤを頼り、助けてもらおうとしたのだが、自分が神信仰から離れている後ろめたさから、妻に変装をさせて向かわせた。すべて見通していたアヒヤは言う。「ヤロブアム家は滅びる」。もし、自分のすべてをさげ出し、悔い改めていれば、神はお救いくださっただろう。神の前にありのまま出よ。

●賛美／443 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王紀上第15章4節「それにもかかわらず、神である主は、ダビデに免じて、エルサレムに灯を与えられた。それは跡継ぎを立てて、エルサレムを存続させるためであった。」◆ダビデの子ソロモンの晩年は偶像にまみれ、ひどいものだった。子のレハブアムはアシェラ像を建て、神殿男娼たちもおいた。その子アビヤムはその罪深い行為を継承した。にもかかわらず、神はダビデの血筋を絶えさせなかった。ダビデの信仰が神の憐れみの対象となっていたからだ。まだ見ぬ子孫のために祈らなければならない。神の祝福が続くように、信仰に励まなければならない。

●賛美／444 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マタイによるふくいんしよ 18:21 ~ 35】

「ゆるすこと」

(エフェソ4:32)

あるとき、でしのペトロが イエスさまに たずねました。

「わたしに いじわるしたひとがいたとします。しかも なんかいも なんかいも したとき、わたしは なんかい、そのひとを ゆるしたらいいのでしょうか。7かいまででいいのでしょうか。」

イエスさまは なんと いわれたとおもいますか。「7かいどころではありません。7かいを 70ばいするまでゆるしなさい」。

パウロは すぐに けいさんをしたでしょうか。490かいだから、491かいめは ゆるさなくていいんだって。

いえいえ。イエスさまは かいすうのことを いったのではなく、どこまでも かぎりなく、ゆるしなさいと おしえておられるのです。

でも、ほんとうに ゆるすことができないと きって、ありますよね。そんなときは、すぐに

でも しかしをしたたいとおもうし、ぜったいに くちをきいてやらないぞと おもったりします。イエスさまは そんなところを ごぞんじで、わかりやすく たとえて ゆるすところをもつように さとしました。

「あるところに おうさまに なんと6000おくれんも おかねをかりている ひとが かえせないでこまっていた。でもおおさまは そのひとに かえさなくていいよと いてくれました。ところが、そのひとは ともだちにかしていた 100まんえんを ともだちが かえせないからといって ろうやに いれてしまいます。それをきいた おうさまが そのひとに わたしが おおくの シャツきんを ゆるしてあげたのに、おまえは わずかな シャツきんを ゆるせなかったのかと おこり、ろうやに いれてしまいました」。

そうです。わたしたちは とても おおきく たくさん つみを かみさまから ゆるされているのです。そのことを おもいだせば、ゆるすことができるようになるのです。

●かんがえてみよう

☆ペトロは イエスさまに どのような しつもんを しましたか(マタイ 18:21)

☆イエスさまは たとえのなかで、おうさまに かりたシャツきんがいくらで、かえせと いて おこったおかねが いくらだった いておられますか。(マタイ 18:24、18:28)

☆このたとえが かたられたのは、なにを おしえるためだったのですか。(マタイ 18:35)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

なにかいゆるあべき

い	す		べ		ゆ	き	る	
か		る	ん		い		な	す
な		き	る		か	ん		ゆ
ん			な	ゆ	き	す	べ	る
ゆ	る							な
			す			か	ゆ	
	ん	い		る	な		か	べ
						な	ん	き
べ	き	な	ゆ	か	ん		す	

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

（サムエル記下5章）

- ① かもんがりごう
- ② しちょうけ
- ③ たんとんら
- ④ きゃっしん

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「古代文明」

NHKで放映していた「古代文明」についての番組を見る機会がありました。冒頭、「四大文明は、何ですか」との問いに、テレビ前にいた私は「メソポタミア、インダス、エジプト、黄河だろ」と得意げに答えたのですが、ところが、私の声が聞こえたようにして、「そう学校で習ったと思いますが、そんなことを教えているのは日本だけなんです」と言うじゃありませんか。その先生。でも、「日本だけ」に驚くと共に、納得しました。私は以前から、その

時代、またそれまでの時代に、世界各地に文明が起こっていたのに、なんで四大文明なんだろうという疑問があったからです。長年のもやもやが晴れたような気がしました。

その上で、この番組内で、現在、最も古い文明がどこだったのかを教えてくださいました。それがなんと紀元前 9000 年に文明があったことが分かる遺跡が見つかっているのです。二度目の驚きです。メソポタミアより 5000 年以上前の文明です。「ギョベックリ・テペ」といい、現在のトルコ東南端に当たる地域です。そして、そこには川がない！。つまり、農耕からの文明ではなく、狩猟採取民が築いたものであるようで、三つ目の驚きでした。すごいことを知ることができ、聖書解釈にも役立ちそうです。

聖書ふれあい街歩き

●シドン

京浜工業地帯は東京湾の西側の臨海地、東京、川崎、横浜を中心とした地域で、違う自治体でも隣り合っていることでお互いに協力し合い、経済を発展させてきました。ティルスとシドンも同様で、サレプタを挟んで 40 km ほど離れてはいますが、両者とも良港を持ち、兄弟都市として発展してきました。シドンは「釣り」の意があり、最初は漁村だったようですが、BC3000 年頃にはすでに都市国家として繁栄していました。BC1000 年頃にはフェニキア文明の交易の中心を担う主要都市となっています。

国の形ができると、外交問題や国内の経済事情、さらには支配者の政治の影響によって栄枯盛衰も起こってきます。例えばダビデ、ソロモンの時代にはシドンよりもティルスが隆盛であったことが分かります。ティルスの王、ヒラムがイスラエルとの同盟を結び、協力し合っていたことが分かりますが、その後、代が替わり、「ユダヤ古代誌」によると、祭司であったエトバルが、シドンの王を殺し、さらにはティルスを支配下に入れたように記されています。娘イゼベル（列王上 16:31）を輿入れさせたのは、イスラエルをも支配下に入れようとした政略結婚だったのかも知れません。

ななめ聖書 先週のこたえ

ん	し	を	た	ぜ	う	ち	ど	と
う	と	た	ど	ち	を	し	ぜ	ん
ぜ	ど	ち	と	し	ん	を	う	た
し	た	ぜ	う	と	ち	ど	ん	を
ち	ん	と	ぜ	を	ど	た	し	う
ど	を	う	ん	た	し	と	ち	ぜ
を	う	し	ち	ん	と	ぜ	た	ど
と	ぜ	ど	し	う	た	ん	を	ち
た	ち	ん	を	ど	ぜ	う	と	し

- ①あなたのこつにく
- ②すべてのぶぞく
- ③どうしゃ
- ④しんたい



エフェソからマケドニアへ

この騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げてからマケドニア州へと出発した。

そして、この地方を巡り歩き、言葉を尽くして人々を励ました後、ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした。

パウロは、シリア州へと船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀が起こったので、マケドニア州を通して帰ることにした。

同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それにアジア州出身のティキコとトロフィモであった。

(使徒言行録20:1~4)



【コリントの信徒への手紙二】

パウロの伝道において、手紙での伝道、教会は非常に重要な働きでした。最近ではメディアの進化によって文書による伝道の重要性が低くなりましたが、この当時は一つの手紙が教会の生き死にを左右する局面もあったわけで、パウロも祈りつつ書いていたことが分かります。「パウロの手紙は重々しく力強い」(コリント二10:10)との評価は、そのような姿勢によって醸し出されたものでしょう。

これまでに、新約聖書に掲載されているパウロの手紙をその折々で紹介してきました。まずアンティオキアで書いたガラテヤの信徒への手紙は「こんなにも早く」信仰から離れてしまったガラテヤ地方の教会に対し、心配して書かれたものです(49年頃)。次に、第二回目でコリントにいた時に書かれた手紙がテサロニケの信徒への手紙2通でした(51~52年)。これは迫害される中で生活する信徒を励まし、再臨問題で混乱していた教理を整理するためでした。

そしてエフェソで書いたとされるのがコリントの信徒への手紙です。判断するためには使徒言行録に記されているパウロの行程と手紙の内容を精査するわけですが、それで考えると、最初の手紙は「五旬祭まではエフェソに滞在するつもり」(コリント一16:8)とあるので、エフェソで書かれているのですが、コリントの信徒への手紙二のほうはどうでしょうか。

「まずあなたがたのところ(コリント)へ行く計画を立てました。そして、そちら(コリント)を經由してマケドニアに行き、マケドニアから再びそちら(コリント)に戻って、ユダヤに送り出してもらおう

と考えたのでした」(コリント二1:16)が、「キリストの福音を伝えるために(なんらかの事情で海路ではなく陸路をとって)トロアスに行ったとき、主は私のために扉を開いてくださいましたが、(コリント教会の様子を知らせてくれるはずだった)兄弟テトスに会えなかったので、…マケドニアに出発しました。」(2:12~13)すると、「マケドニアに着いた時、私たちの身には全く安らぎがなく、さまざまな苦しみに遭遇していました…しかし…神は、テトスの到着によって私たちを慰めてくださいました。」(コリント二7:5~6)。となります。

まとめると、最初は、すぐにコリントに行くつもりでしたが、マケドニアに向かうこととなります。するとテトスがマケドニアに来てくれたためコリント教会の現状報告を受けた。状況が改善されたと聞き、慰められたパウロが早速手紙を書いた、となります。また、これからコリントに行くよ、三回目だねと巻末に記しています(13:1)ので、書いた場所がマケドニア、フィリピがテサロニケだったことは間違いありません。執筆時期は55~56年頃だろうと推測されます。

コリントの手紙二の内容は、テトスの報告を聞き、信徒たちが悔い改めたことを知り、大きな慰めになったこと、そして「ちょっと言い過ぎたかなあ」と思っていたパウロ自身からの和解の言葉、そのほか、教会の運営上の注意点や教理面での指導、特に復活についての誤った理解の修正などです。礼拝に出席する際の敬虔な姿勢、聖餐式の守り方、キリストの体を建て上げるためにそれぞれの賜物の生かす必要性なども細かく書かれており、他書も含め、今でも大事な手紙であることに間違いありません。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

